

川西女性起業家ネットワーク Woman Create

女性起業家が元気な川西市を支える

Woman Create が熱い！



川西市役所の市民活動センター「パレットかわにし」の一室に10名ほどの女性が集まり、何やら楽しそうに談笑している。一見、大学のサークル活動か何かのような雰囲気だが、盛り上がっている話題はビジネス。彼女たちは、川西女性起業家ネットワーク Woman Create（以下 Woman Create）のメンバーだ。月1回行われている情報交換交流会におじゃまして、窓口代表の、三好貴子さんと長洲美智子さんにお話を聞いた。

気軽に相談したり悩みを聞いてもらえたりする場所が必要だった



女性起業家支援のために、川西市が毎年行っている川西女性起業塾。その第1期となる2016年の起業塾が終了する際、塾生の何人かが「解散したくない」と声をあげた。三好さんはそのひとりだ。

「半年間一緒に学んできて、このまま解散してしまうのはもったいないと思った。難しいことは商工会などに聞ける。でも、商工会では聞けないような、ちょっとした疑問やささいな悩みは塾生同士で話し合っていた。そういう場所がこれからも必要だと思ったのです。」

同じ思いのメンバー8人が翌2017年1月1日に立ち上げたのが、Woman Createだ。



女性起業塾のフォローアップ機関として

Woman Create は川西市と連携しており、市が行う女性起業塾終了後に「もっと勉強したい、起業家どうし繋がりたい」という人がいると市の担当者が、Woman Create を紹介するという流れができています。

現在会員は 24 名。年に 1 度会員の更新をする。起業から日が浅く相談したいことがある人が利用する場所という位置付けなので、1 年経って必要性を感じなくなり辞める人もいれば、さらに続ける人もいます。



Woman Create の主な活動

月に 1 度の情報交換交流会のほか、年に 1 回、会員のみ出店できるクリエイトフェスタという活動発表の場を設けている。企業のバイヤーも来るこの催しは、会員の発表・発信の場になっているという。以前は小規模なマルシェも開催していたが、コロナで中断している、と二人は残念そうだ。また、会員同士のコラボレーションも生まれている。パステル絵画をやっている会員が、コーヒー店を開業した別の会員にパッケージ用イラストを提供するなど、会員どうしがつながることで新しい商品が生まれている。



川西市は女性が活躍できる場があるまち

女性起業塾があり、Woman Create もある川西市は、女性が活躍できる場があるまち、と二人は言う。さらに今、「川西市中心市街地活性化協議会」が中心となって、川西能勢口駅周辺の活性化が進められている。多くの人に参加できるマルシェの開催など、駅前プロジェクトもその1つ。大阪からのアクセスが良く環境にも恵まれた川西市の今後の展開が楽しみだ。



キャプション

<1EDCB797-2ECE-4DE2-ABB1-5B5FFD01EC33-690-000000C84F69BF39>

「このまま解散するのはもったいない」という思いで、立ち上げられた Woman Create

<IMG_1358>

ちょっとした疑問やささいな悩みを話す場所が必要だった

<IMG_1353>

定例会では近況やイベント情報などをみんなで共有する

<IMG_1311>

楽しく、和やかな雰囲気而定例会

<IMG_1270>

普段の活動は川西市役所の市民活動センター「パレットかわにし」を利用している